

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

9

2018 No.768

3 はじめの言葉

4 固定概念を越えた

マーケティング時代

田原文夫

試行錯誤を繰り返し替えてきた日本の情報処理だが、その背景には絶えず変化する固定概念の変化、マーケティング特性の変貌がある。その中で日本政府は、民間の消費活動市場に様々な干渉を繰り返している。卑近な例では、スマホ市場への介入、ビールの安売り傾向への警告などがある。さらには政府独占の小麦粉市場価格への干渉もそうだ。小麦粉製品の一斉値上げだが、果たしてこれでいいのか。

10 情報社会を考える その96

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

キャッチコピーとしての「働き方改革」

働き方改革とは、よくぞ言ったものである。キャッチコピーとしては素晴らしいと言っ
ていいだろう。しかし問題はその中身である。その中身を検討する段階で国会に提出され
た基礎データに怪しげなものが多数含まれていたのは周知の通り。労働現場ではかつて、
ホワイトカラー、ブルーカラーといった表現のもと、労働者の選別分類が存在した。改め
て言うまでもなく、オフィスワーク社員と生産現場など現業部門社員とを区別してきた。

12 デジタルガバメント DG8

デジタル政府の展開 その8

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018年1月16日に日本政府もデジタルガ
バメント実行計画をeガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28年1月16日
から2023年3月31日までの計画である。2018年上半期を目途に各府省庁における中長
期の戦略的な計画を策定をする。電子政府はICTを使って政府側から国民に行政サービ
スをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客(国民、
企業、職員)側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処から
でも誰でも使えることを目的としている。

18 連載 アーキテクチャ論 (89)

活動分析に基づくビジネスプロセスモデリング

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

業務を記述した文章からビジネスプロセスを作成する手法を紹介する。ビジネスプロセスの記述では、エンタープライズアーキテクチャ[1]を記述するための標準言語である ArchiMate[2,3]を採用する。具体的には、業務を記述した文章の名詞、目的語、動詞に着目して、能動的な主体、受動的な対象情報、動作を識別するとともに、それらの種類に応じた図式要素に変換することにより、ビジネスプロセスを作成する方法を提案する。作成されたビジネスプロセスについて、自動化する要素と人間による要素に分類することで自動化範囲を明確化できる。

まず、ArchiMate でビジネスプロセスを記述する方法を説明する。次いで、例題に対してビジネスプロセスを作成できることを具体的に紹介する。

2 5 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第 12 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 1 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 106 回 文化財の保全・保護に貢献する

デジタル複製技術とその動向

根本忠明

日本も含めて世界各地で貴重な文化財の流出・盗難・破壊が繰り返されている。日本では対策としてデジタル複製技術によるレプリカをオリジナルに代え展示する所が増えている。メリットもあるが批判もある。わが国では、製作当時の輝きを取り戻すクローン文化財という方法が注目されている。今回は、最近のデジタル複製の動向について報告する。

3 4 続インテリジェンスへのいざない 103

米中制裁合戦時代の

最適インテリジェンス情報創造

今井 武

改めて言うまでもなく、われわれは世界的社会存在である。米朝の経済制裁に端を発する関税合戦。国家レベル、企業レベル、個人レベルを問わず、大きな経済的シワ寄せが表面化してきている。トルコへの経済制裁も進んでおり、トルコ通貨リラが急落している。日本でもガソリンの市中販売価格が高止まりするなど、日本国民の財産／経済に影響が出ている。

3 6 連載 続 語録（ごろく） 3 0

すぎやまちヒロ

本誌ホームページをご覧ください。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版 データ・ウェアハウス

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分
A4版 296頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 140年を振り返るデータ	第七章 情報システム部門から望むデータウェアハウス
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAPを用いたデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの構築とエン지니어ツール
第四章 リレーショナルモデルとOLAP、リレーショナルモデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 大規模の構築とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウスの管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

田原 文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意識決定
第二章 消費者行動の心理的決定要因	第五章 消費者行動のメカニズム
第三章 消費者行動の社会的決定要因	第六章 人間であること(人間の行動プロセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

豊島 一政・木村 賢 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのOLAPにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの基礎	第八章 多次元データベースの構築
第三章 OLAP機上によるOLAPソフトウェアの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析結果の提示	第十章 OLAP/サーバーとPC/クライアント
第五章 OLAP/多次元データベースの設計	第十一章 OLAPアプリケーション/パッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

shin 研究誌情報書店

インターネットセキュリティの 落とし穴

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

目次

第一章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十一章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第二章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十二章 メールセキュリティ
第三章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十三章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第四章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十四章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第五章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十五章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第六章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十六章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第七章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十七章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第八章 高度化されたセキュリティ対策の現状	第十八章 高度化されたセキュリティ対策の現状
第九章 高度化されたセキュリティ対策の現状	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！

トップ主導の 情報システム革新

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

高田 順重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム開発の現状と今後の展望	第五章 情報システム開発の現状と今後の展望
第二章 情報システム開発の現状と今後の展望	第六章 情報システム開発の現状と今後の展望
第三章 情報システム開発の現状と今後の展望	第七章 情報システム開発の現状と今後の展望
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 情報システム開発の現状と今後の展望

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ コミュニケーションの構築	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定
■ 広報の目的と効果の測定	■ 広報の目的と効果の測定

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第三章 計量モデルの効率的解法
第二章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第四章 計量モデルの効率的解法
第三章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第五章 計量モデルの効率的解法
第四章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第六章 計量モデルの効率的解法
第五章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第七章 計量モデルの効率的解法
第六章 計量モデルとスパースモデルの構造と解法	第八章 スパース

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルリーダー
グローバル企業に選ばれる国際経営システム設計の教科書

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒900) 440円 3冊分

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 序論	第十一章 国際経営システム設計の教科書
第二章 国際経営システム設計の教科書	第十二章 国際経営システム設計の教科書
第三章 国際経営システム設計の教科書	第十三章 国際経営システム設計の教科書
第四章 国際経営システム設計の教科書	第十四章 国際経営システム設計の教科書
第五章 国際経営システム設計の教科書	第十五章 国際経営システム設計の教科書
第六章 国際経営システム設計の教科書	第十六章 ユーザー体験
第七章 国際経営システム設計の教科書	第十七章 国際経営システム設計の教科書
第八章 国際経営システム設計の教科書	第十八章 国際経営システム設計の教科書
第九章 国際経営システム設計の教科書	第十九章 国際経営システム設計の教科書
第十章 国際経営システム設計の教科書	第二十章 国際経営システム設計の教科書

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp